

令和5年度電気技術者資質向上事業の実施結果

令和6年3月31日

「電気技術者資質向上事業」は、関係機関が実施を計画する電気技術者の資質向上を目的とする事業(以下、「資質向上事業」という。)を支援すること等により、当事業の着実な実施、さらなる普及・拡大等を通じて、電気技術者の資質の向上を図り、もって我が国の電気保安の確保に寄与することを目的に実施した。

令和5年度の事業実施結果は、次のとおり

1. 経過

令和5年4月1日(土)～10月31日(火)の間、当試験センターホームページで提案を募集したところ次の11件の申請があった。

・令和5年5月24日(水)

次の1件の採択が適当とされた。

- ① 「第23回高校生ものづくりコンテスト北海道ブロック大会電気工事部門」
(北海道工業高等学校長協会)

・令和5年6月1日(木)

次の4件の採択が適当とされた。

- ① 「第19回高校生ものづくりコンテスト四国大会(電気工事部門)」
(四国工業教育研究会)
- ② 「令和5年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会 電気工事部門」
(中国地区高等学校工業教育研究会)
- ③ 「令和5年度「第23回高校生ものづくりコンテスト北信越大会電気工事部門」」
(福井県立奥越明成高等学校)
- ④ 「第53回全九州技能競技大会」
(一般社団法人 全九州電気工事業協会)

・令和5年7月3日(月)

次の1件の採択が適当とされた。

- ① 「第22回高校生ものづくりコンテスト九州地区大会電気工事部門」
(佐賀県立鳥栖工業高等学校)

・令和5年7月19日（水）

次の4件の採択が適当とされた。

- ① 「第23回高校生ものづくりコンテスト近畿大会（電気系部門）」
(近畿地区電気教育研究会)
- ② 「令和5年度第22回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト千葉大会
兼 第23回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会」
(関東甲信越地区電気教育研究会)
- ③ 「第29回配電工事安全技能競技会」
(北陸電気工事組合連合会)
- ④ 「第23回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門」
(佐賀県立鳥栖工業高等学校)

・令和5年8月3日（木）

次の1件の採択が適当とされた。

- ① 「令和5年度 第22回高校生ものづくりコンテスト東海大会 電気工事部門」
(東海地区工業高等学校長教育研究会)

2. 支援対象事業の実施結果

申請のあった11事業のうち11事業が実施された。

(1) 実施事業

- ① 「第23回高校生ものづくりコンテスト北海道ブロック大会電気工事部門」
(北海道工業高等学校長協会)
令和5年5月25日（木）～26日（金）に実施 表1参照
- ② 「第19回高校生ものづくりコンテスト四国大会（電気工事部門）」
(四国工業教育研究会)
令和5年6月10日（土）に実施 表2参照
- ③ 「令和5年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会電気工事部門」
(中国地区高等学校工業教育研究会)
令和5年6月17日（土）～18（日）に実施 表3参照
- ④ 「第22回高校生ものづくりコンテスト九州地区大会電気工事部門」
(佐賀県立鳥栖工業高等学校)
令和5年7月8日（土）～9日（日）に実施 表4参照
- ⑤ 「第23回高校生ものづくりコンテスト近畿大会（電気系部門）」
(近畿地区電気教育研究会)
令和5年8月8日（火）に実施 表5参照

- ⑥ 「令和5年度 第22回高校生ものづくりコンテスト東海大会電気工事部門」
(東海地区工業高等学校長教育研究会)
令和5年8月19日(土)に実施 表6参照
- ⑦ 「令和5年度第22回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト千葉大会
兼 第23回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会」
(関東甲信越地区電気教育研究会)
令和5年8月26日(土)に実施 表7参照
- ⑧ 「令和5年度「第23回高校生ものづくりコンテスト北信越大会電気工事部門」」
(福井県立奥越明成高等学校)
令和5年8月26日(土)～27日(日)に実施 表8参照
- ⑨ 「第53回全九州技能競技大会」
(一般社団法人 全九州電気工事業協会)
令和5年10月21日(土)～22日(日)に実施 表9参照
- ⑩ 「第29回配電工事安全技能競技会」
(北陸電気工事組合連合会)
令和5年11月2日(木)に実施 表10参照
- ⑪ 「第23回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門」
(佐賀県立鳥栖工業高等学校)
令和5年11月11日(土)～12日(日)に実施 表11参照

3. その他

令和6年度電気技術者資質向上事業募集要項は、別途、当試験センターのホームページに掲載します。

表 1

項 目	内 容
支援事業名	第23回高校生ものづくりコンテスト北海道ブロック大会電気工事部門
目 的	全道の各工業高等学校で取り組んでいる電気工事分野でのものづくりの学習効果の発表の場として、全道の工業高校生が技術・技能を競い合う北海道大会を開催し、選抜された代表者を「高校生ものづくりコンテスト全国大会」及び「若年者ものづくり競技大会」に出場させ、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、若年技術・技能者の育成を図ることを目的とする。
実施期間	令和5年5月25日(木)～26日(金)
開催場所	北海道釧路工業高等学校
主 催	北海道工業高等学校長会 北海道高等学校工業クラブ連盟
後 援	北海道教育委員会 北海道産業教育振興会 北海道の工業教育を推進する会
協 賛	一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>審査員は、実際の電気工事の経験を持ち指導員として従事する外部技術審査員(釧路電気工事業協同組合の技術者)を含め審査を実施する。</p> <p>(審査の基本的視点・採点方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目ごとの減点方式 ・審査対象は、すべての工事が完成しているもの ・工事未完成のものは、審査対象外とする ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格とする <p>・表彰(表彰構成、表彰賞品等)</p> <p>最優秀賞 1名 賞状・トロフィー 優秀賞 1名 賞状 優良賞 2名 賞状</p>
参加者数	競技選手人数:8名 審判員人数:8名 運営事務局人数:3名
支援の内容	開催経費のうち、設営費・運営費等の一部218千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 1

第 2 3 回高校生ものづくりコンテスト北海道ブロック大会電気工事部門

(北海道工業高等学校長協会)

実施日：令和 5 年 5 月 2 5 日 (木) ～ 2 6 日 (金)



表 2

項目	内 容
支援事業名	第19回高校生ものづくりコンテスト四国大会(電気工事部門)
目的	ものづくりコンテストを実施し、熱意ある若者を確保し、ものづくりへの意識の高揚と技術・技能の習熟向上を図るとともに、技術・技能の研鑽目標の場とし、工業教育の活性化を図る。
実施期間	令和5年6月10日(土)
開催場所	愛媛県立松山工業高等学校
主催	四国工業教育研究会
後援	愛媛県教育委員会 愛媛県産業教育研究会 一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 高校生ものづくりコンテスト全国大会に出場する四国ブロック代表選手の選考を行う大会とする。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加選手の構成 各県の選抜者2名(徳島・高知・愛媛) 計6名の参加 ・参加資格 四国の工業系学科を置く高等学校に在学する生徒 <p>③競技方法・競技内容(競技種目 筆記競技□ 技能競技■)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生ものづくりコンテスト全国大会課題に準じて設定 ・1名で作業 ・競技時間:120分 ・「競技規則」に従い、「施工図」、「施工条件」に示す電気設備の施工を想定した配線工事を行う。 <p>④審査方法(審査委員の構成及び審査員資格要件等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四電工(技能五輪等出場選手)に依頼 ・審査の基本的視点、採点方法 <ul style="list-style-type: none"> a 法令等の遵守(関係法令等に適合の有無を採点) b 基本事項(競技課題との相違の有無を採点) c 一般事項(競技規則及び選手心得の遵守の有無を採点) d 作業時間(作業時間について採点) e 出来映え(出来映えについて審査委員が評価) <p>⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 優勝、準優勝、奨励賞について賞状を授与する。優勝者1名が高校生ものづくりコンテスト全国大会へ出場する</p>
参加者数	競技選手人数:6名 審判員人数:6名 運営事務局人数:8名 その他:14名
支援の内容	開催経費のうち、設営費・運営費等の一部103千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表2

第19回高校生ものづくりコンテスト四国大会（電気工事部門）

（四国工業教育研究会）

実施日：令和5年6月10日（土）



表 3

項目	内 容
支援事業名	令和5年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会 電気工事部門
目的	中国5県の各工業高等学校で取り組んでいるものづくりの電気工事分野において、日々の学習などで積み上げた技術・技能を競い合う場として、中国地区大会を開催する。選抜された代表者を「高校生ものづくりコンテスト全国大会」に出場させ、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、若年技術・技能者の育成を図ることを目的とする。
実施期間	令和5年6月17日(土)～18日(日)
開催場所	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岡山支部 岡山職業能力開発促進センター(ポリテクセンター岡山)
主催	中国地区高等学校工業教育研究会 高等学校工業クラブ連盟
後援	広島県教育委員会 広島市教育委員会 一般財団法人 電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 1年に1回、開催している。今年度で18回を数え、今後も継続した事業の実施が計画されている。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 全国工業高等学校長協会員校に在籍している工業科の生徒で全日制・定時制に所属していること。</p> <p>③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 筆記競技□ 技能競技■) 屋内配線の課題を概ね縦1、800×横1、800の作業パネルに与えられた材料で電気工事の施工を行う。</p> <p>④審査方法(審査委員の構成及び審査員資格要件等) 電気工事の専門知識のある4名で行う。 中国電力ネットワーク職員 1名、中電工職員 2名、ポリテクセンター職員 1名</p> <p>⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 第1位 賞状・楯 第2位 賞状・楯 第3位 賞状・楯</p>
参加者数	競技選手人数:11名 審判員人数:4名 運営事務局人数:14名 その他:20名
支援の内容	開催経費のうち、設営費・運営費等の一部253千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 3

令和5年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会電気工事部門

(中国地区高等学校工業教育研究会)

実施日：令和5年6月17日(土)～18(日)

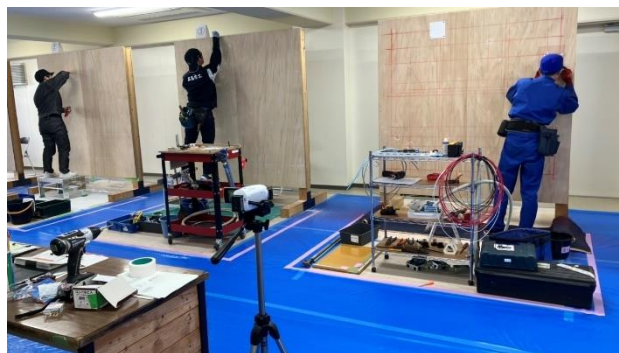


表 4

項目	内 容
支援事業名	第22回高校生ものづくりコンテスト九州地区大会 電気工事部門
目的	公益社団法人全国工業高等学校長協会で行っている高校生ものづくりコンテストの電気工事部門で、九州各県から選抜された8名が技術・技能を競い合い、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、及び若年技術者の育成を図ることを目的とする。
実施期間	令和5年7月8日(土)～9日(日)
開催場所	佐賀県立鳥栖工業高等学校
主催	佐賀県立鳥栖工業高等学校
後援	佐賀県教育委員会、佐賀県高等学校研究会工業部会
協賛	一般財団法人 電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 平成12年から毎年で実施している大会(令和2年度のみ中止)であり、九州地区に属する都道府県が順番に開催地として大会運営に当たる。今回から2025年の大会までは佐賀県で実施する</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 九州地区に属する各県で県大会を実施し、各県で選抜された1名の代表による。</p> <p>③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 筆記競技□ 技能競技☑) 技能競技:第23回高校生ものづくりコンテスト全国大会(電気工事部門)に準じて設定。競技時間120分。「競技規則」に従い、「施工図」、「施工条件」に示す電気設備の施工を想定した配線工事を行う。</p> <p>④審査方法(審査委員の構成及び審査員資格要件等) 審査員は、外部技術審査員(佐賀県電気工事業組合の技術者)を3名により、審査基準に基づき審査を実施。 (審査の基本的視点・採点方法) ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目ごとの減点方式 ・審査対象は、すべての工事が完成しているもの ・工事未完成のものは、審査対象外 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格</p> <p>⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 第1位から第3位までを表彰(賞状、盾、メダルの授与)</p>
参加者数	競技選手人数:8名 審判員人数:4名 運営事務局人数:30名 その他:50名
支援の内容	開催経費のうち、設営費・運営費等の一部250千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 4

第 22 回高校生ものづくりコンテスト九州地区大会電気工事部門

(佐賀県立鳥栖工業高等学校)

実施日：令和 5 年 7 月 8 日 (土) ~ 9 日 (日)



表 5

項 目	内 容
支援事業名	第23回高校生ものづくりコンテスト近畿大会(電気系部門)
目 的	大会を通して工業高等学校生徒の「ものづくり」に対する意識を高め、電気・電子の技術・技能の向上を図るとともに、今後の電気・電子教育の資質向上を目指す。
実施期間	令和5年8月8日(火)
開催場所	株式会社きんでん きんでん学園
主 催	近畿地区電気教育研究会
後 援	近畿工業高等学校長協会 大阪府教育委員会 一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 公益社団法人全国工業高等学校長協会では、各高等学校で取り組んでいるものづくりの学習効果の発表の場として、1年に一度、全国の高校生が一堂に会して、技術・技能を競い合う全国的な大会(全国大会)を企画し、過去22回実施した。本競技大会は全国大会への近畿地区代表選手の選考会である。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 近畿大会は、近畿地区を8ブロックに分け各ブロック内の工業を学習する高校生で予選会を実施し、各ブロック代表の8選手で近畿大会を行い、全国大会出場代表選手を決定する選考会である。</p> <p>③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 筆記競技□ 技能競技□) 電気系部門の中の「電気工事部門」として「施工図」、「施工条件」、「電灯展開図」に示す配線工事を選手1名による指定時間内(120分)に行う技能技術競技である。</p> <p>④審査方法(審査委員の構成及び審査員資格要件等) 特別審査員として株式会社きんでん より技術指導員1名と近畿地区の工業系高等学校で電気工事を指導する教員が審査員として9名で審査する。 ○審査の基本的観点 ・関係法令等に適合した施工方法であること。 ・美観を含めた施工状況であること。 ・安全作業、作業態度に注意して施工していること。</p> <p>○採点方法 ・工事未完了は審査対象外とする。 ・施工条件違反は審査対象外とする。 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格。 ・項目ごとの減点方式で採点し、減点の少ない者から上位とする。</p> <p>⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 1位から3位まで表彰状と盾 1位に電気材料(全国大会の練習用) 1位は高校生ものづくりコンテスト全国大会への出場資格を与える。</p>
参加者数	競技選手人数:6名 審判員人数:8名 運営事務局人数:5名 その他:33名
支援の内容	開催経費のうち、設営費・運営費等の一部161千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表5

第23回高校生ものづくりコンテスト近畿大会（電気系部門）

（近畿地区電気教育研究会）

実施日：令和5年8月8日（火）



表 6

項 目	内 容
支援事業名	令和5年度 第22回高校生ものづくりコンテスト東海大会 電気工事部門
目 的	全国工業高等学校長協会主催「高校生ものづくりコンテスト全国大会」および中央職業能力開発協会主催「若年者ものづくり競技大会」の予選を兼ねた、東海地区の4県から選抜された選手が技術・技能を競い合う大会の実施により、東海地区工業高校生ものづくり技術・技能の一層の向上を図る。
実施期間	令和5年8月19日(土)
開催場所	株式会社トーエネック教育センター
主 催	東海地区工業高等学校長教育研究会
後 援	一般社団法人日本電設工業協会東海支部 一般社団法人愛知電業協会 一般社団法人三重電業協会 一般社団法人岐阜電業協会 一般社団法人静岡県電業協会
協 賛	株式会社トーエネック パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 株式会社ニチフ 一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 平成14年から毎年開催され、今回で第22回目の大会である。東海地区に属する4県が順番で大会運営を行い、今回は静岡県が担当。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 東海地区工業高等学校長教育研究会に所属する高校生による各県の予選会を実施し、各県上位2名、開催県上位3名の合計9名が参加。</p> <p>③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 電気工事 筆記競技□ 技能競技■) 第22回高校生ものづくりコンテスト全国大会の競技課題に準ずる。概ね、縦1,820mm×1,820mm(床上約300mm)の垂直パネルに、「競技規則」に従い、「施工図」、および「施工条件」に示す配線工事を行う。</p> <p>④審査方法(審査委員の構成及び審査員資格要件等) 審査員は中部電力パワーグリッド株式会社及び株式会社トーエネックの技能五輪コーチ及び技能五輪選手経験のある6名により、審査基準に基づき審査を実施。 ・法令等の遵守、関係法令等の適合の有無 ・競技課題との相違の有無 ・作業時間、作業態度 ・持ち点100点からの減点方式</p> <p>⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 優勝、準優勝、3位(東海地区工業高等学校長教育研究会)賞状・盾 金賞、銀賞、銅賞(日本電設工業協会東海支部長賞)賞状・メダル</p>
参加者数	競技選手人数:9名 審判員人数:7名 運営事務局人数:16名 その他:30名
支援の内容	開催経費のうち、設営費・運営費等の一部159千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 6

令和5年度 第22回高校生ものづくりコンテスト東海大会電気工事部門

(東海地区工業高等学校長教育研究会)

実施日：令和5年8月19日(土)



表 7

項 目	内 容
支援事業名	令和5年度第22回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト千葉大会 兼 第23回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会
目 的	電気系学科の高校生を対象に、電気工事コンテストを行うことにより電気工事の基礎応用の技術向上を図るとともに、電気技術者の育成を図ることを目的とする。
実施期間	令和5年8月26日(土)
開催場所	株式会社きんでん 人材開発センター
主 催	関東甲信越地区電気教育研究会
後 援	関東地区工業高等学校長会、千葉県電気工事工業組合、千葉県教育委員会、一般社団法人千葉県電業協会、千葉県産業教育振興協会、一般社団法人東京電業協会、日本教育公務員弘済会千葉支部
協 賛	一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 平成13年から毎年実施している(令和2年はコロナ禍により中止)大会であり、関東地区1都7県と山梨県が順番に開催地として大会運営に当たる。今大会は千葉県で実施する。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 関東甲信越地区電気教育研究会会員校に在籍する生徒で、関東地区1都7県と山梨県の予選会を経て、各都県で推薦された各都県2名の代表による</p> <p>③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 筆記競技□ 技能競技■) 高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門の課題に準じて設定 競技時間120分 「競技規則」に従い「施工図」、「施工条件」に示す電気設備の施工を想定した配線工事を行う。</p> <p>④審査方法(審査委員の構成及び審査員資格要件等) 審査委員は、電気工事の現場に従事しており、千葉県県電気工事工業組合・千葉県電業協会の中において指導的立場にある者9名程度により、審査基準に基づき審査を実施。 (審査の基本的視点・採点方法) ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目ごとの減点方式 ・審査対象は、すべての工事が完成しているもの ・工事未完成のものは、審査対象外 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格</p> <p>⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 1位(優勝)から6位、賞状と盾を表彰</p>
参加者数	競技選手人数:16名 審判員人数:13名 運営事務局人数:22名 その他:86名
支援の内容	開催経費のうち、設営費・運営費等の一部300千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 7

令和5年度第22回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト千葉大会
兼 第23回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会

(関東甲信越地区電気教育研究会)

実施日：令和5年8月26日(土)



表 8

項 目	内 容
支援事業名	令和5年度「第23回高校生ものづくりコンテスト北信越大会電気工事部門」
目 的	公益社団法人全国工業高等学校長協会の主催により、各高等学校で取り組んでいる、ものづくりの学習効果の発表の場として、全国の高校生が一堂に会して、技術・技能を競い合う全国的な大会に向けて、北信越ブロックの各県より選抜された選手が、技術・技能を競い合い、地域の若年技術者の育成を図ることを目的としている。また全国大会出場の選考会として位置づけられている。
実施期間	令和5年8月26日(土)～27日(日)
開催場所	ポリテクセンター福井
主 催	全国工業高等学校長協会 北信越工業高等学校長会
後 援	ポリテクセンター福井
協 賛	一般財団法人電気技術者試験センター、福井県電気工事工業組合、北陸電力株式会社福井支店
実施内容	<p>①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 2001年から毎年実施している大会であり、北信越地区に属する都道府県が順番に開催地として大会運営に当たる。今回の大会は福井県で実施する。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 北信越各県において予選会を実施し、各県より選抜された2名の代表の合計10名による大会。</p> <p>③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 技能競技) 技能競技:高校生ものづくりコンテスト全国大会の課題に準じて設定 競技時間120分 「競技規則」に従い、「施工図」、「施工条件」に示す電気設備の施工を想定した配線工事を行う。</p> <p>④審査方法(審査委員の構成及び審査員資格要件等) 審査員は、実際の電気工事の経験を持ち指導員として従事する外部技術審査員(福井県電気工事工業組合の技術者)を含めた計4名により、審査基準に基づき審査を実施。 (審査の基本的視点・採点方法) ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目ごとの減点方式 ・審査対象は、すべての工事が完成しているもの ・工事未完成のものは、審査対象外 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格</p> <p>⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 最優秀賞 1名(賞状)、優秀賞1名(賞状)、優良賞2名(賞状)</p>
参加者数	競技選手人数:10名 審判員人数:5名 運営事務局人数:32名 その他:18名
支援の内容	開催経費のうち、設営費・運営費等の一部375千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 8

令和5年度「第23回高校生ものづくりコンテスト北信越大会電気工事部門」

(福井県立奥越明成高等学校)

実施日：令和5年8月26日(土)～27日(日)



表 9

項目	内容
支援事業名	第53回 全九州技能競技大会
目的	沖縄を含む九州8県の電気工事業工業組合から選抜(推薦)された女性選手(最大8名)にオブザーバー参加の学生(2名予定)を加え、技術・技能を競り合い、安心生活と電気安全を支える技術技能水準の向上及び若年者の育成を図り、電気工事業の発展に期すために行うものである。
実施期間	令和5年10月21日(土)～22日(日)
開催場所	飯塚市立立岩交流センター、ポリテクセンター飯塚
主催	一般社団法人 全九州電気工事業協会
後援	経済産業省 九州産業保安監督部
協賛	一般財団法人 電気技術者試験センター、九州電力送配電株式会社、沖縄電力株式会社、一般財団法人 九州電気保安協会、東芝ライテック株式会社、東芝マーケティング株式会社、株式会社白十字安全、全日本電気工事業工業組合連合会
実施内容	<p>①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 1968年から2017年まで毎年開催、2019年から隔年開催となり、沖縄を含む九州各県持ち回りで開催地として大会運営に当たっていたが、今回の第53回大会から女性の部の九州ブロック代表選考会に見直し、福岡県で開催する。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 全九州電気工事業協会の会員である各県電気工事業工業組合の所属員の中から選抜(推薦)された女性の選手(最大8名)と当番県(熊本県)より推薦された学生2名(オブザーバー参加)による。</p> <p>③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 筆記競技☑ 技能競技☑) 筆記試験: 第二種電気工事士試験の出題レベル相当の問題を出題(30分) 技能競技: 技能競技実行委員会において定めた改題並びに競技指示に基づき、安全で正確な施工を競う。(120分)</p> <p>④審査方法(審査委員の構成及び審査員資格要件等) 審査委員は当協会委員の2名(電気工事の実務経験を有した者)による通電試験並びに技術基準違反等について確認を行い、その後に公平性を期すため外部の審査委員(保安監督部、九電送配、保安協会、東芝ライテックの技術者4名)により、審査基準に基づき審査を実施 (審査の基本的視点・採点方法) ・保安面から見た施工状況 ・安全作業、作業態度 ・審査対象は完成品のみで、未完成は審査対象外 ・通電試験結果、不点灯や短絡したものや技術基準違反は失格 ・美観を含めた施工技術 ・欠陥項目毎の減点方式</p> <p>⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 最優秀省(会長賞+保安監督部長賞)1名(賞状、副賞、記念品) 優秀賞(会長賞+九州電力賞、沖縄電力賞)2名(〃) 入賞(会長賞+保安協会賞、全日電工連賞、東芝賞、白十字安全賞)5名</p>
参加者数	競技選手人数: 4名 審判員人数: 4名 運営事務局人数: 44名 その他: 45名
支援の内容	開催経費のうち、設営費・運営費等の一部334千円を支援

第 5 3 回全九州技能競技大会

(一般社団法人 全九州電気工事業協会)

実施日：令和 5 年 1 0 月 2 1 日 (土) ～ 2 2 日 (日)



表 10

項 目	内 容
支援事業名	第29回配電工事安全技能競技会
目 的	配電工事安全技能教育の一環として、工事技能、安全作業及びお客さま対応の習得向上を図ることを目的とする。
実施期間	令和5年11月2日(木)
開催場所	北陸電力株式会社研修センター
主 催	北陸電気工事組合連合会
協 賛	一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 年1回、平成6年より毎年開催(R元年は中止)、今年度が第29回目。 北陸電力送配電株式会社の配電工事を実施している北陸三県の外線・引込線施工者を対象。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 ・構成 外線工事 各県電工組より1チーム3名 計3チーム 引込線工事 各県電工組より1チーム3名 計3チーム ・参加資格要件 北陸電力送配電株式会社の配電工事認定施工者</p> <p>③競技方法・競技内容 外線工事: 飛来物接触による高圧線断線と不良CF遮断器復旧工事 引込線工事: 引込線無停電張替工事(直接引込・並行架線工法)</p> <p>④審査方法 審査委員長・副委員長: 連合会配電委員(県電工組の電力部長) 各1名 審査員: 安全管理指導員及び外線工事作業班長 各県4名 計12名</p> <p>⑤表彰 外線工事: 最優秀賞、優秀賞、努力賞 引込線工事: 最優秀賞、優秀賞、努力賞</p>
参加者数	競技選手人数: 18名 審判員人数: 14名 運営事務局人数: 23名 その他: 212名
支援の内容	開催経費のうち、設営費・運営費等の一部941千円を支援

第 29 回配電工事安全技能競技会

(北陸電気工事組合連合会)

実施日：令和 5 年 11 月 2 日 (木)



表 11

項目	内容
支援事業名	第23回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門
目的	公益社団法人全国工業高等学校長協会で行っている高校生ものづくりコンテストの電気工事部門で、全国9地域から選抜された9名と開催県代表の1名を加えた10名が技術・技能を競い合い、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、及び若年技術者の育成を図ることを目的とする。
実施期間	令和5年11月11日(土)～12日(日)
開催場所	佐賀県立鳥栖工業高等学校
主催	佐賀県立鳥栖工業高等学校
後援	九州地区工業高等学校校長協会
協賛	一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 平成11年から毎年で実施している大会(令和2年度のみ中止)であり、ブロックごとに順番で開催地を設定として大会運営に当たる。今回2023年の大会は北部九州地区が担当であり、佐賀県で実施する</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 全国で決められた9地区に属する都道府県で予選を行い、勝ち上がった選手がさらに地区大会を経て選抜された1名の代表による。また、開催県(今回は佐賀県)については開催県枠があるため、県大会を勝ち上がった1名がこの大会に出場する。</p> <p>③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 筆記競技<input type="checkbox"/> 技能競技<input checked="" type="checkbox"/>) 技能競技:第22回高校生ものづくりコンテスト全国大会(電気工事部門)に準じて設定。競技時間120分。「競技規則」に従い、「施工図」、「施工条件」に示す電気設備の施工を想定した配線工事を行う。</p> <p>④審査方法(審査委員の構成及び審査員資格要件等) 審査員は、外部技術審査員(佐賀県電気工事業組合の技術者)を3名により、審査基準に基づき審査を実施。 (審査の基本的視点・採点方法) ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目ごとの減点方式 ・審査対象は、すべての工事が完成しているもの ・工事未完成のものは、審査対象外 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格</p> <p>⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 第1位から第3位までを表彰(賞状、盾、メダルの授与)</p>
参加者数	競技選手人数:10名 審判員人数:7名 運営事務局人数:30名 その他:80名
支援の内容	開催経費のうち、設営費・運営費等の一部650千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 1 1

第 2 3 回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門

(佐賀県立鳥栖工業高等学校)

実施日：令和 5 年 1 1 月 1 1 日 (土) ~ 1 2 日 (日)

